

数値目標の考え方について

1 現 況

- 昨年 12 月に策定した政策ビジョンにおいて、本県が挑戦する政策（20 項目）と施策の方向性（104 項目）を整理（目標値は未設定）
- 本年 3 月末に「茨城県まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下、総合戦略と言う。）を政策ビジョンの内容に基づき改訂。その中で、11 の数値目標と 160 項目の KPI を設定

2 課 題

- 基本理念「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現度合いを県民と共有でき、かつ、それらが伸びていく姿を測れる指標を設定することが必要

3 方向性

- 総合戦略の数値目標等は、総合計画の骨子となる政策ビジョンを踏まえて設定。政策の目指すべき方向性を一致させるといった観点から、総合計画においても、これら指標に十分配慮
- 総合計画においては、県民が計画の進捗を実感しやすい、政策レベルの大きな指標（複数の施策の成果を総合的に示す指標）を設定するよう意識
- 20 の政策レベル毎に 3～5 程度（全体で 60～100）の「主要指標」を設定

・指標は、定量的かつ全国比較が可能となるよう意識
➢他県と本県との状況を客観的に比較・分析でき、より効果的な改善策の検討が可能

- さらに、4 つのチャレンジ毎に、代表指標として「チャレンジ指標」を設定（4 本柱毎に 2 程度、全体で 8～10 程度）

・「主要指標」の目標年度は、計画期間の 4 年後（2021 年）に設定。また、「チャレンジ指標」については、中長期的な未来を展望するとの観点から 10 年後（2027 年）の目標値も設定

- 計画策定後は、毎年度、「チャレンジ指標」等の状況を評価・分析し、その結果に基づき PDCA サイクルを着実に展開。（なお、予算と連動させるための個別事業レベルの評価方法等については、事務的に調整）

4 その他の検討事項

- 政策レベルの指標に加え、「暮らし向き満足度」など「幸福度」を直接測る主観的な指標設定の是非

(参考) 総合計画における指標の設定イメージ

総合計画における20の政策

- I 「新しい豊かさ」へのチャレンジ
 - ①質の高い雇用の創出
 - ②新産業育成と中小企業等の成長
 - ③強い農林水産業
 - ④多様な働き方
 - ⑤かけがえのない自然環境の保全・再生
- II 「新しい安心安全」へのチャレンジ
 - ⑥県民の命を守る地域医療・福祉
 - ⑦健康長寿日本一
 - ⑧障害のある人も暮らしやすい社会
 - ⑨安心して暮らせる社会
 - ⑩災害に強い県土
- III 「新しい人財育成」へのチャレンジ
 - ⑪次世代を担う「人財」
 - ⑫魅力ある教育環境
 - ⑬日本一、子どもを産み育てやすい県
 - ⑭学び・文化・スポーツに親しむ環境
 - ⑮人権を尊重し、多様性を認め合う社会
- IV 「新しい夢・希望」へのチャレンジ
 - ⑯魅力度 No1. プロジェクト
 - ⑰世界に飛躍する茨城へ
 - ⑱ビジット茨城～新観光創生～
 - ⑲茨城国体・障害者スポーツ大会、東京オリンピック・パラリンピックの成功
 - ⑳活力を生むインフラと住み続けたいくなるまち

20の政策に主要指標を設定 (全体で60~100程度)

- ①の指標設定例
 - 主要指標 (豊かさ)
 - 本社機能等の移転等に伴う新規立地件数, 工場立地件数, 若年者正規雇用者数 等
- ⋮
- ⑦の指標設定例
 - 主要指標 (安心安全)
 - 特定保健指導対象者数の割合 (40歳~74歳), 地域包括支援センター数, 希望者全員が65歳以上まで働ける企業の割合 等
- ⋮
- ⑬の指標設定例
 - 主要指標 (人財育成)
 - 地域子育て支援拠点数, 保育所等の待機児童数 等
- ⋮
- ⑱の指標設定例
 - 主要指標 (夢・希望)
 - 観光地点等入込客数, 宿泊観光入込客数, 海外からの観光客-催行数 等
- ⋮

チャレンジ毎に代表指標を設定 (全体で8~10程度)

- I 新しい豊かさ
 - [設定例]
 - チャレンジ指標
 - 雇用創出数【戦略】
 - ⋮
- II 新しい安心安全
 - [設定例]
 - チャレンジ指標
 - 健康寿命【戦略】
 - ⋮
- III 新しい人財育成
 - [設定例]
 - チャレンジ指標
 - 理想の子どもの数と実際の子どもの数の差【戦略】
 - ⋮
- IV 新しい夢・希望
 - [設定例]
 - チャレンジ指標
 - 観光消費額【戦略】
 - ⋮

※【戦略】: 総合戦略の数値目標